

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【436】

2. 日時：令和5年3月22日 10時00分～11時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、
中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、
谷口技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他1名

電源事業本部 耐震設計土木グループ マネージャー 他9名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 課長代理※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。はい。規制庁の千明ですそれでは島根原子力発電所 2 号機、設工認のヒアリングを始めます。本日午前中の説明項目は、審査会合案件の主な説明事項と対経済事情浸水防護施設となります。
0:00:13	それでは、土地の確認と、ヒアリングの進め方について説明をお願いします。
0:00:19	はい。中国電力ユリです。まず進め方ですけども、本件 2 件予定しております、1 件目が主な説明事項の審査会合案件です。
0:00:29	2 件目が波が 46 比木の耐震計算書に関わる適正化になってございます。
0:00:35	介護案件につきましては、1 件の※会と、適正化のご説明させていただきます。そのあと質疑、
0:00:42	南川 46- の説明適正化の説明させていただきますして質疑という流れで進めさせていただきますと思います。
0:00:51	続きまして、資料の裁判をさせていただきます。
0:00:56	まず審査会合案件につきましては、N-S に他 067 回に 1、論点整理に関わるパワーポイント資料につきまして①番。
0:01:07	N-S2 他、056 回 13、回答整理表が②番。
0:01:13	N-S2 歩 02301 回 13 の補足説明資料を⑤3 番とさせていただきますと思います。
0:01:21	続きまして波が主力擁壁の耐震掲載書の方ですけども、
0:01:26	回答整理表、N-S に他、
0:01:29	231 へと解散 0504 番、
0:01:34	N-S2 歩 02708 回 34 の補足説明資料を⑤番。
0:01:42	N-S に補
0:01:45	ほか、082 回 0 に、適正化箇所の一覧を⑥番。
0:01:52	N-S2.5056 回 01 の計算機プログラムの概要を、こちらを⑦番とさせていただきます。
0:02:05	はい。橘田チギラ谷津はい。それでは資料の確認ができましたので説明をお願いします。
0:02:14	中国電力の今村です。それでは、資料ナンバーの 2 をご確認ください。
0:02:21	資料ナンバー 2 の欄。
0:02:23	ページ 8 の、
0:02:24	No.8、
0:02:26	申し訳ありません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:27	資料ナンバー2 のページ 8 ページのNo.81 のコメント。
0:02:33	白抜きの改良地盤の周辺注意の地盤状況について、確認できるような図を記載して説明することとありますので今回回答させていただきます。
0:02:42	ナンバー3 資料の通しページ 5 ページ目お願いいたします。
0:02:50	ナンバー3 の資料の通しページ。
0:02:53	5 ページ目に参考資料 13-3。
0:02:56	各施設における改良地盤の概要の
0:02:59	申し訳ありません通しページページをご確認ください。参考資料 13-3、各施設における改良地盤の概要の承認、各改良地盤の周囲の地盤状況が確認できる図を追加させていただきましたので、
0:03:13	ご説明させていただきます。6 ページ目お願いいたします。
0:03:19	6 ページ目に、
0:03:21	概要施設に申し上げます各施設における改良地盤の概要をお示しておりますが、ページ 7 から 9 ページ目に、各改良地盤の配置増、
0:03:32	更新してお示しております。
0:03:34	また、ページ 10 ページ目に、更新した家具改良地盤の概要の表を更新しております。
0:03:43	こちらに、のコメントNo.81 についての回答は以上になります。
0:03:51	続きまして、
0:04:08	はい、規制庁伊賀ですじゃ、81 番、はい。
0:04:15	規制庁の服部です。ちょっと 1 点確認なんですけど、これ
0:04:20	事実確認が 1 年前の、
0:04:22	事実確認になってましてこの当時はまだ資料が、
0:04:27	こういうなんだろう、今、今みたいにきちっと
0:04:33	充実されて、各充実されてなかったということで、地盤改良の範囲はきちっと分かるようにしてくださいね。
0:04:40	という事実確認だと思ったと思いますがそれでよろしいでしょうか。
0:04:47	中国電力の伊佐です。はい今羽鳥さんがおっしゃった通りでございます。ちょっとこちらすすね、1 年以上前というところでまだ計算書等がまだ出てない時に載せていた図面というところで、
0:04:59	今回いろいろ計算書の方をお示しておりますそちらの方を反映したものというふうになっております。以上です。規制庁の服部ですはいわかりました。ヒアリングが進んで、資料が随分拡充されたということで明確になってると思いますので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:15	このヒアリング、事実確認については、了解いたします。以上です。
0:05:30	都築中国電力の今村です。続きまして参考資料 13 の資料の適正化についてまずご説明させていただきます。ナンバー3 の
0:05:40	41 ページ目をお願いいたします。
0:05:48	通しページ 41 ページの 5.5 の品質確認結果の承認を受けまして、品質確認における試験数量が品質確認後、必要調査活動し、
0:05:58	箇所数を満足している旨を追記させていただいております。
0:06:02	また、改良地盤、①から③の品質確認のために実施する現地試験及び資料最終中シミズ平面図につきましては、施工完了範囲等、施工予定範囲を前回お示ししておりましたが、
0:06:16	施工範囲、施工範囲に統一して、図を平面図を更新しております。同様に、40 ページの 42 ページ目をお願いいたします。
0:06:27	こちらPS検層試験結果の全体概要ですがこちらについても、
0:06:32	施工完了範囲を削除しております。
0:06:37	続きまして 45 ページ目をお願いいたします。
0:06:43	こちらに改良地盤 1 から 3 の試験結果と管理目標値の対比を示しておりますが、表の 5-5-3-1、PS検層試験結果と品質管理の管理目標値との対比表につきましては、
0:06:55	試験結果から、加重平均の値を削除しております。
0:07:00	ナンバー3 の資料についての適正化は以上になります。
0:07:04	続きまして、ナンバー1 の、
0:07:08	パワーポイント資料についての適正化についてご説明をさせていただきます。
0:07:13	ページ 1 ページ目をお願いいたします。
0:07:18	申し送り事項となっております。防波壁逆T擁壁直下の改良地盤の品質確認試験結果につきまして、適正化者項目をご説明いたします。まず 3 ページ目をお願いいたします。
0:07:32	こちらの 3 ページにつきましては、前回の、
0:07:36	修正した箇所を赤字で明示しておりますが、前回、赤井千野、赤尾県示す棒背景は、前回波返し 16 溶液及び多重広角になっていたものを虐待を平均に適正化しております。
0:07:47	また赤字に示しております。改良地盤の範囲及び仕様等の説明につきましては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:53	注記で示しておりますが、現地施工進捗に伴う品質確認試験結果、今教え、説明しております品質確認試験結果以外については、説明済みである旨を記載しております。
0:08:06	続きまして 5 ページ目お願いいたします。
0:08:13	5 ページ目におきましては、
0:08:16	まず図 1 の逆T擁壁の構造概要図につきまして改良地盤位置と改良地盤②の境界性を改めて明示をさせていただいております。
0:08:26	また、
0:08:29	ページ 5 につきましては設置変更許可段階と詳細設計段階での評価の概要をお示しておりますが、ここに新たに表 1 といたしまして、設置変更許可段階における解析を物性値。
0:08:41	を、表の 1 を追加しております。
0:08:43	また、
0:08:44	品質確認における管理目標値が、
0:08:47	逆転擁壁の耐震評価に用いる解析用物性値と同様である旨を追記させていただきます。
0:08:56	続きまして 6 ページ目をお願いいたします。
0:09:03	ページ 6 ページ目には、記載の適正化といたしまして、前回し、
0:09:09	黄色事項に対する回答といたしまして新設改良地盤を記載させていただいておりましたが、今回対象となる防波壁逆PO逆T擁壁のというふうに記載を適正化させていただきます。
0:09:21	続きましてページ 7 ページ目をお願いいたします。
0:09:27	ページページの品質確認方法及びし、試料採取位置につきまして、下図の 2 の 2 行、試料採取位置図につきましては、改良地盤の最終的な施工範囲がわかるように同様に修正しております。
0:09:39	また、3 ポツ目の記載につきましては、表 3 に示す品質確認における必要調査箇所数が満足している旨を記載させていただきます。
0:09:48	また、表 3 につきましては注記といたしまして、
0:09:51	この
0:09:52	市長調査箇所数が、建築センター市建築センター指針または指針とかマニュアルに準拠する旨を記載させていただきます。
0:10:01	ページ目は、8 ページ目お願いいたしますよろしくお願いいたします。
0:10:07	ページ 8 ページ目におきましても、新設改良地盤を、
0:10:11	この対象となるものが防波壁逆T擁壁の
0:10:14	がわかるように、記載の適正化を行っております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:18	ナンバー1の適正化につきましては、説明は以上になります。
0:10:24	はい。規制庁チギラです。それでは今説明がありました配慮地盤関係ですね、資料の1から3に関して、
0:10:35	確認する点がある方、お願いします。
0:10:47	はい、規制庁の仲村ですけど、私の方から記載だけのところなんですけども、まず資料1ですね。
0:10:56	7ページなんですけども、
0:11:01	下の図2のところ、図2の図ですね。
0:11:05	なんですけども、
0:11:07	当然こちらとしてはもう資料見何度も見てるから理解はしてるんですけど、改めて知らない人がパッと見た時についていう観点でちょっと申し上げますと、
0:11:18	まず
0:11:20	その図2のところで、
0:11:22	改良地盤とかグレーのハッチングがあるんですけど、
0:11:27	護岸のところにもあるんで、紛らわしいなっていうところがあるんで、何かこう判例とか模様っていうんですかね、ちょっと工夫されたらどうかな。
0:11:38	と思ってますんで、例えばですけど、
0:11:42	資料3の、
0:11:44	14ページ。
0:11:53	には14ページも同じような図があるんですけどそこでは改良地盤というのを
0:11:59	米寿っぽい色で、
0:12:02	ハッチング塗ったりしてるんですね。だからちょっとそういうところということで、知らない人が見てもぱっとわかるっていうところで、
0:12:13	改良地盤のところですね、色とかちょっとそういうところ工夫されたらどうかなっていうんですけど、まずその点についてはいかがですか。
0:12:23	中国電力の今村です。趣旨、理解いたしました。参考資料ナンバー3の14ページのとわかりなるようにちょっと適正化を図りたいと思います。
0:12:33	以上です。はい。そうすると、多分
0:12:37	もう理解していただいていると思うんですけど資料3の41ページにも同じこの7ページと同じような図があるんでそっちも合わせてもらったらいいかなっていうことですね。
0:12:48	あとそれと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:50	この図、7 ページの図 2 のところでちょっと引き出し線なりですねつけてもらったらいいかなと思ったのが、
0:13:01	逆T擁壁とか、
0:13:04	こちらとしてはわかってるんですけど、この太い線で囲んでるところの逆T擁壁とかそういうのが何も説明がないっていうところ。
0:13:16	と、あと濃いグレーっていうのはこれは護岸とかを表してるっていうんであれば何かちょっとそういうところも、
0:13:25	引き出し線でちょっと説明あった方が全体のイメージ掴みやすいと思いますけども、いかがでしょうか。
0:13:35	中国電力の今村です。そのように、適正化をさせていただきたいと思います。以上です。はい。あと最後、この図 2 で、最後ですけど、ちなみにですけどこの、
0:13:47	大きくこだわるところじゃないですけど、小さい丸がいっぱいありますけどこれは、鋼管ぐいですか、それともグラウンドアンカー。
0:13:56	っていうのは、
0:13:57	鋼管ぐいであれば、
0:14:00	八鍬林。
0:14:02	を求めてないとかであれば、何かなかってもいいのかなと思ったんですよそんなにこだわるところじゃないですけど、いかがですか。
0:14:12	はい。中国電力李です。今おっしゃった通り、鋼管杭になってございますけどもちょっと役割に期待しないものですので、ちょっとこちらの図からの見えないような形で修正したいと思います。以上です。はい。
0:14:26	よろしく願います。まず資料 1 については以上です。あと、
0:14:33	これちょっと教えて欲しいところがあって資料 3 の、
0:14:38	9 ページですね。
0:14:41	確認というか教えてもらいたいというか、あれなんですけども、まずは 9 ページで、8、7、7 ページ 8 ページと、ずっと、
0:14:51	改良地盤のところの説明があるんですけど、
0:14:55	9 ページの上で図の 3-8。
0:14:58	っていうところで置換コンクリートの配置術っていうのがぽんとう出てくるんですけども、これは何かこう、
0:15:06	今改良地盤の配置図って言って説明してるところで、何で出てきたのかなっていうのがちょっと教えてもらいたいところと。
0:15:15	他にもそういう、何か同じようなものでないのかなっていうところで、ちょっと確認ですけども、いかがですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:28	はい。中国電力ヨシツグでございます。ちょっと唐突感がありましたので文章とちょっと修正は考えさせてもらいますけれどもここでお示しておりますのは、
0:15:39	改良地盤と同様に置換コンクリートで、構造物への動圧の軽減とか、そういったものを期待しているものとして置換コンクリートの絵を、
0:15:52	9 ページの上の方には地域をさしていただいております。ちょっとその旨が6 ページ等に、ちょっとわかりにくいところがございますので、そこは見直しをまたさしていただけたらと思います。以上です。
0:16:04	はい。そうですね。6 ページの文章のところにはもう改良地盤のことしか書かれてなかったんでっていう感じで、何でかなと思ったんでちょっとその辺は、
0:16:32	はい。
0:16:42	はい、中国電力、清水です目次のところを見ていただきますともうご存知かもしれませんが4-7 ということで置換帰結既設の改良地盤の一部として置換コンクリートというふうに書いております。
0:16:56	これセメントの配合とかでその目的とかが違うところについてちょっとお出しをしているところですので、その辺りのことが、先ほど出資と言いましたけど6 ページのところに書けていませんので、
0:17:09	その辺を追加したいと思います。以上です。
0:17:12	はい。規制庁仲村ですけども、よろしく願いします。私最後ですけども、
0:17:18	この
0:17:19	9 ページの図の3-9 というのは、すみません、細かいとこですけど、図の3-1 で、断面の位置があるんですけどこれ多分、ヤシの動きが、
0:17:30	図の3-1 で、HH断面ですね。
0:17:36	これ、安井の向きが多分間違ってるんじゃないかなあとって、思ったんですけど、いかがですか。
0:17:45	はい。中国電力ヨシツグでございます。申し訳ございません。仲村さんおっしゃられた通り、これ北側から見たようになっておりますので、ちょっと矢代向き間違っておりました。他のも含めてですねちょっと確認をさせていただきます。失礼いたします。
0:18:00	はい。多分、断面と同じ動きだと思っんで、よろしく願いします。私からは以上です。
0:18:13	はい、規制庁で切られた他、何か確認するってありますか。
0:18:19	規制庁の江寄ですが、一番最初、パワーポイント。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:26	5 ページ。
0:18:28	で、最初のいわゆる設置許可し、設置許可を踏まえた面設計段階の検討内容と検討経緯なんですけどね。
0:18:38	ここはちょっと文章わかりにくいんじゃないかなと思っていて、
0:18:41	まず最初の矢羽根は、設置変更許可段階において、逆T擁壁については、
0:18:48	PS検層って言うけど、このPS検層等云々やってなぜまだ次、その下の山根の
0:18:55	自主施工においててやらなきゃいけないのかって、
0:18:58	普通思うじゃない。その辺がわかんないよねだから多分これって確か記憶だと。
0:19:03	季節季節乗せ既設分のPS検層の値を、
0:19:08	代表したんだよね。それをちょっとわかるようにした方がいいんだと思うんですね。
0:19:14	代表しているから、
0:19:16	多分、現実的にそういった共同強度や剛性異常物性値が上回る。
0:19:23	設計、うん。
0:19:25	その時に許可で使っていた石油整地を上回るとは、見通しがつくので、基本的に
0:19:34	それが実際に本当にそうしたものが施工できていることを確認する、するのが詳細設計段階だまでに、各
0:19:43	報告しますっていうのが、中国電力の流れだと思うんだよね。それをちょっとここだとね、ちょっと読み取れないよね。
0:19:49	この後です、一つの山の中で、確かにあっちの話だと、
0:19:55	地盤であることを評価しないと終わりはないんだけど、
0:19:58	うん。
0:20:00	話を、人のヤマダにつなげるためには、
0:20:04	うん。
0:20:05	いわゆる改良地盤が、
0:20:07	施設の安全機能を損なうおそれがおそくない地盤である。
0:20:12	ということじゃなくて、
0:20:14	恐れのない設計とするっていうことですよ、四条に転じてるんで。
0:20:19	結局テンロクはテンパチ2 転じてるんだよね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:24	三条から四条に鞍替えしてるので、そこを読み取れるようにした方がいいんじゃないかなと。だから恐れはない、設計方針としているってということで、それを設計その設計方針の条件を、詳細設計の段階で新たに、
0:20:42	物性値を、を定めた上で確認して、それで、
0:20:47	その設置許可段階で許可を受けた物性値。
0:20:52	管理目標値と、
0:20:54	本当にウエノヤマダです。一応その管理目標、
0:20:57	二つ目のヤマダにすごくないように、買い飛び込みしちゃってはいるんだけど、
0:21:02	管理目標値、
0:21:06	であることを実施工において確認するっていう、
0:21:09	話が、制約条件として、会合で述べられていて、それが基本的に今回の申し送り事項になってるんだよねその経緯がちょっとわかりにくいっていう、
0:21:22	思っていてそこをちょっともう少し文章を、
0:21:26	練り直したらどうですかっていうのは思うんですけどいかがでしょうか。
0:21:32	はい中国電力李です。大きく3点ご確認ご指摘いただいたと思ってます。まず一つ目PS検層と2に基づく改良地盤の解析用物性値っていう言い回しが、
0:21:44	ちょっとわかりにくい記載になっておりますので、
0:21:47	PS検層に基づく換算値をもって共同特性だったりを設定しておりましたので、
0:21:53	そういった物性値をもって設定している旨を記載したいと思います。
0:21:59	もう一つが、この矢羽根の一つ目の一番最後の締め言葉ですけども、地盤が主体の記載になっておりますけども、
0:22:08	恐れがないような設計をするということで、施設主体の記載の仕方に見直したいと思います。
0:22:16	最後が、この一番、矢羽根の一つ目の一番上の方に書いてあるPS検層等に基づく解析、企業部政治、こちらの管理目標値として、
0:22:27	実施工において上回ることを確認する旨の記載ができておりませんので、そちらを追記したいと思います。以上です。
0:22:47	伊勢谷崎です。多分ですね。
0:22:49	杉尾委員は、最近、
0:22:52	来たばかりなので、これの趣旨って全然わからないと思うんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:56	今、宇井委員の中で、具体的にしてるのは、
0:23:02	地盤側の委員だけであって、
0:23:04	こっちのプラント側の委員は、わからないんで、なぜこれを審査会で最後にかけてるかってのはちょっと、明確化しといた方がいいと思いますんでよろしくをお願いします。
0:23:16	はい中国電力李です。その辺の趣旨目的がわかりにくい資料になっておりまして申し訳ございませんでした。誰が見てもわかるような形で、目的を明確化したいと思います。以上です。
0:23:27	はい。規制庁、日浦です。君。
0:23:31	よろしいですかね。
0:23:33	はい。
0:23:34	それでは次の資料、耐震計算書のコメント回答の方の一覧の説明をお願いいたします。
0:23:43	はい。中国電力の志水です。はい。こちらの浸水防護施設の耐震の補足説明 5 番等を用いまして、2 点適正化をご説明させていただきたいと思います。まず一つ
0:23:56	衛藤波返し重力擁壁の岩盤部への直接鉄筋を定着させているところについて現地の引張試験を行いましたのでその結果をご説明させていただきます。
0:24:07	そのあとに、解析コードの方の妥当性の検証ですね、防波壁の 3 次元解析で用いているファイナンススターについて、資料つい時としていた部分について
0:24:18	検証結果を記載しましたのでこちらのご説明をさせていただきます。
0:24:22	それでは説明者をかわりまして 1 度に説明をさせていただきたいと思っております。よろしくをお願いします。
0:24:33	はい。資料番号 5 の浸水防護施設、中国電力の吉田です。失礼しました。資料番号 5 の浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料につきましてご説明させていただきます。
0:24:46	はじめに目次 1 及び目次 4 ページをお願いいたします。
0:24:53	本日説明させていただく範囲は、赤枠の範囲となっております。
0:24:58	続きまして参考 8-1 ページをお願いいたします。
0:25:05	地盤工学会のグラウンドアンカー設計施工基準同解説を準用し、地震時及び津波時の作用荷重に対して、岩盤からの鉄筋の引き抜けが発生しないことを確認した結果について、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:18	お示しておりましたが、前回のヒアリングでのご指摘を踏まえまして、現地鉄筋引っ張り試験を実施しましたので、しました、して鉄筋が岩盤から引き受けないことを確認してきましたので、こちらについて内容と結果についてご説明をさせていただきます。
0:25:35	続きまして、ページ番号 8-7 をお願いいたします。
0:25:42	ここからですね現地鉄筋引っ張り試験についてのご説明となります。
0:25:48	ページ 8-8 をお願いいたします。
0:25:51	こちらに波返し重力擁壁の岩盤部の東端部における岩級図及び岩相図をお示しております。
0:25:59	続きまして 8-9 ページをお願いいたします。
0:26:02	今回実施しました試験位置をお示しております。
0:26:08	8-10 ページをお願いいたします。
0:26:11	試験概要といたしまして、試験体の作成について記載をしております。
0:26:16	試験体は、岩盤を露出させた後に、岩級及び岩種の確認を行い、
0:26:21	試験実施位置の環境及び岩種が防波壁波返し重力溶液の岩盤部、岩盤直接支持部を設置している基礎地盤と同じ岩級。
0:26:31	失礼しました。凝灰岩でCH級であることを確認しております。
0:26:37	また、鉄筋については、実構造物が海側でD51、陸側で利用 11 を用いていることから、鉄筋径ごとに試験体を 3 体ずつ作成しております。
0:26:51	続きまして 8-12 ページをお願いいたします。
0:26:56	鉄筋引抜き試験は、センターホールジャッキを用いて行い、鉄筋の引き抜き荷重及び鉄筋の伸び量について計測をしております。
0:27:05	引抜き荷重については、地震時及び津波時の作用荷重を超えるまで差異化しております。
0:27:11	なお、D512 作用する最大引抜き力は、地震時に作用する最大引抜き力、29kNに比べて、津波時に作用する最大引抜き力 275kNの方が大きいことから、
0:27:24	津波時に作用する最大引抜き力を超える荷重を採用する、再開させております。
0:27:29	その下に図 4-4 として最下層値及び計測位置概要図をお示しております。
0:27:36	続きまして 8-15 ページをお願いいたします。
0:27:41	こちらでは、D5 市における試験結果をお示しております。
0:27:46	鉄筋の引抜き試験の結果として、鉄筋の引き抜き荷重と変位の関係。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:52	また、試験後のグラウド及び鉄筋の定着部付近の岩盤表面状況についてお示しをしております。
0:28:00	結果としまして、地震時及び津波時の作用荷重のうち、より大きい津波が 10、最大引抜き力 275kNに対しまして、それを超える階、超える荷重、772 キロ級、
0:28:13	772kNに至るまで、
0:28:16	荷重の低下は見られず、鉄筋の引き抜き荷重と変位の関係から、鉄筋は弾性挙動を示していることを確認しております。
0:28:24	また、試験後の観察工から岩盤表面を確認した結果、鉄筋の周辺のグラウド及び岩盤にクラックは確認ができませんでした。確認すること、確認できませんでした。
0:28:36	以上のことから、地震時及び津波時において、鉄筋は岩盤から引き抜けないということを確認しております。
0:28:41	李 41 についても同様の結果となっております。
0:28:47	最後に、ページ番号 8-21 をお願いします。
0:28:52	まとめになっております。重力擁壁の方に作用する。
0:28:57	地震荷重及び津波荷重に対しまして、鉄筋が岩盤から引き受けないことを、規格基準類及び今回の現地鉄筋引抜き試験により確認しております。
0:29:08	このため、重力擁壁と岩盤の境界面の境界条件というものがただ妥当であるということを確認しております。
0:29:16	以上で鉄筋引抜き試験についてのご説明は以上となります。
0:29:23	中国電力のソウダです。続きまして、解析コードについてご説明いたします。資料番号 7 番をお願いいたします。
0:29:34	こちらは、防波壁波か重力擁壁及び多重鋼管杭式擁壁の 3 次元構造解析に使用している解析コードの
0:29:44	#NAME?
0:29:47	こちらについて、適正化箇所及び随時としておりました箇所についてご説明いたします。
0:29:54	3 ページをお願いいたします。
0:29:59	使用実績として、記載しております、福島第 1 原子力発電所の 4 号機原子炉建屋の耐震安全性評価に係るクロスチェック解析について、
0:30:10	こちらは原子炉建屋の 3 次元静的応力解析による耐震安全性評価をし、実施しておりますので記載を拡充しております。
0:30:21	20 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:29	前回ヒアリングで築地としておりました。ソリッド要素の検証について記載しておりますのでご説明いたします。
0:30:36	まず線形ソリッド要素については、20 ページにお示しております。図の解析モデルを用いた解析による変形量と、理論解を比較しております。
0:30:48	21 ページをお願いいたします。
0:30:52	解析結果と理論値の比較を記載しておりますが、解析値と理論解が概ね一致していることから、適用性を確認しております。
0:31:04	22 ページをお願いいたします。
0:31:09	非線形ソリッド要素については、こちらの図に示しております。実験結果と、解析による変形を比較しております。
0:31:19	24 ページをお願いいたします。
0:31:24	解析結果と実験結果の比較をしておりますが、荷重変位関係及び鉄筋の降伏荷重を明記していることから、適用性を確認しております。
0:31:36	ご説明は以上となります。
0:31:41	はい。水田チギラです。それでは今説明がありました資料 4 から 7 について確認をしていきたいと思えます。
0:31:50	それでは、確認する点がある方お願いします。
0:32:01	はい。規制庁の仲村ですけども、まず確認というか資料でいうと、5 番ですね。
0:32:10	の、
0:32:11	ページ数で言うと 8-1。
0:32:13	なんですけども、
0:32:16	これは上の方の文章のところ鉄筋はっていうのがあって、上から 2 行目のところですかね H 型工は、せん断力に抵抗する設計とするとか、そういうことも書かれてるんで、
0:32:32	これは依頼っていうかお願いなんですけど、下の図の、
0:32:36	1-1。
0:32:37	のところに、
0:32:39	鉄筋なんかこう長さとか書かれたり、A 系が書かれたりしてるんですけど H 型工、何も書かれてないんで、これも、何か期待効果期待してるんであれば、
0:32:53	愛知コガ。
0:32:55	んな、何百 H で長さがどれだけ埋まってるとかそういうところもわかるようにしたらいかがかと思いますけども。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:07	はい。中国電力の吉田です。
0:33:10	承知いたしました。H型工の仕様について図 1-1 に反映をさせていただきます。以上です。
0:33:17	はい。
0:33:19	その点についてはよろしく申し上げます。あとちょっと確認なんですけども、今回参考資料 8 っていうので、
0:33:27	鉄筋の高引き抜きの、
0:33:30	ことをですね
0:33:33	引抜き試験とかの結果で説明していただいたんですけど、
0:33:38	このH形鋼についてって、どこかで、
0:33:41	書いたり或いはシモ説明って終わってたんですけどかね、ちょっと確認です。
0:33:53	中国電力の志水です。
0:33:57	一型行については本編側で試験、試験ではございます解析の評価結果をお示ししております目次で言いますと、
0:34:10	あれですかね、目次の 3-3 ページ。
0:34:13	4、4 ポツ 2 ポツ 7 っていうところで書かれて説明されてたんですかね。
0:34:20	はい。
0:34:21	わかりましたすみませんちょっと確認だけでした。はい、ありがとうございます。
0:34:44	規制庁の三浦です。それと、
0:34:48	資料 5 のですね、
0:34:52	参考の 8-6 ページとか、
0:34:55	なんですけど。
0:34:58	ここ 3 台、最大 1、
0:35:01	引き抜き力等、今回の試験結果の比較が行われてます。
0:35:07	その最大-296 っていうのは、いわゆる鉄筋に作用している存在応力を示されてると思うんですよね。
0:35:16	ただ、これ設計で用いられてるのは、
0:35:19	鉄筋の降伏応力か何か許容限界として解析に用いてるんじゃないかなと思うんですね。
0:35:26	ですから引抜き試験の結果が、鉄筋の許容限界をカバーできてるっていう追記も必要なような気がするんです。
0:35:35	その辺はいかがでしょうか。
0:35:41	中国電力志水です。はい。そうですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:45	参考 8-3 ページの方に、その最大引抜き力のことを書いてございますけれども、おっしゃる通り、こちらの最大引抜き力について
0:35:56	わかりました。
0:35:58	適用限界につきましては
0:36:00	鉄筋の降伏荷重を衛藤、
0:36:02	参照して調査することとしてございます。今回の実験で採火した最大荷重といいますのも、敵の国荷重をもとに、それより安全側に荷重を少しふやした形で、
0:36:16	確認をしてございますので、その辺りを失権のところ、
0:36:21	この参考資料 8 の中に反映させていただきたいと思います。以上です。はい。そうですね。最大引抜き力ってのはこの存在応力なので、設計で用いてる許容限界とは違うんで、今回の試験っていうのは、
0:36:35	財布に黒空の存在応力に対して大丈夫だっていう確認もあるんだけど、最終的な一番確認しなきゃいけないのは、鉄筋の許容限界に対して、
0:36:45	この試験結果が、安全側であるということを確認しなきゃいけないと思うので、
0:36:51	その辺のところちょっと資料を充実してください。
0:36:54	後の方でだから、例えば、
0:36:57	参考 8-19 とか、こういうところで、あれですよ、最大船力との試験結果の比較なんですけどこれ許容限界なんかでもですね。
0:37:09	ここに入れとけばいいんじゃないかなというふうに思います。参考 8-16 辺りですか。
0:37:15	あと 19 辺りですね。
0:37:16	先ほど言ったようにD51 の設計で用いてる許容限界を超えてるものが 772kNとかいう数字だと思うんですけど、
0:37:27	これのところも許容値として点線で入れておくと。
0:37:31	教育委員会としてとけば、釧路としてわかりやすくなると思います。いかがですか。
0:37:40	中国電力清水です。はい。承知いたしましたこちらの試験、4 ポツ 3 試験結果の
0:37:47	試験結果のまとめの中でもその辺り見える化したいと思います。以上です。はい。すいませんお願いします。それともう 1 点なんですけど、
0:37:57	プログラムファイナンスたでしたっけ、の確認で、資料。
0:38:02	7 の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:07	24 ページですか。
0:38:11	これ非線形ソリッドを使ったときの実験結果とのフィッティングってこれ、必ずしもよくないですよ。
0:38:20	これのところを、解析結果等、試験結果の違いっていうのを、
0:38:25	どういうふうに判断されてるか、概ね一致してるっていうだけで一度プログラム検証としては弱いと思います。
0:38:33	ある理由がやっぱあってこういうふうな傾向になるということが理屈だっ てないとバリエーションにはならないと思うんですが、その辺のところち よっにご意見を聞かしてください。
0:38:49	中国電力の宗です。ソウダです。少々お待ちください。
0:39:18	中国電力清水です。すいませんお待たせいたしました。
0:39:22	今回、シェルとも比較を、
0:39:26	シルトの比較といいますか 19 ページの方には、シェル要素を用いた解 析と実験の、
0:39:33	企画をしております、その上で、今回ソリッドの解析をして、24 ページ の方に記載をしております、
0:39:44	こちらの方で、大きな差はないかなというところを考慮しておりました。た だですね、シェル要素の方につきましては面外辺のせん断変形とい いますかそういう
0:39:56	ことがなく、一方でソリッドの方で言いますと、
0:40:01	面外方向の偏見を多少出ているというところがあります、あるとは分析 しているんですけども、
0:40:07	ちょっとそういった考察をですね、もう少しして追及させていただきたいと 思っております。以上です。規制庁の宮です。線形SARRYとの方は ね、
0:40:19	これはもう絶対的にほとんどないとおかしい。
0:40:23	もうここで口が出たら全くプログラムとしては駄目だということだと思 うん ですよ。
0:40:28	線形なので、確かに実験結果と比較するといろんなファクターがあるの で、
0:40:33	無礼は出てくると思うんですよ。
0:40:37	やっぱりこう見てて例えば 24 ページの見てて気になるなと思うのは、
0:40:42	最大の荷重の部分が、むしろ実験結果色の解析結果が上回っちゃって るとかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:50	やはりちょっとここにはもうちょっと考察をきちっと加えていただいて、これこれこういう理由が想定されるので、この解析結果このプログラムの信頼性はあるっていうところまでもうちょっと深めていただく。
0:41:05	の方がいいと思います。
0:41:07	ちょっとこれだけ見て、
0:41:08	非線形ソリッド真子非線形ソリッドって公言された分ですけど、
0:41:12	これでプログラム大丈夫だよっていう、バリエーションの資料としてはちょっと弱い、いうふうに思います。工作大津考察を充実させていただいて、
0:41:23	理由あるってのを分析していただくってことが必要だと思いますいかがですか。
0:41:29	中国電力の清水です。はい。こちら 24 ページの結果の検証のところで、衛藤。
0:41:35	考察のほうを追記したいと思います。以上です。
0:41:39	規制庁の梅田ですあとはだから解析結果の方が実験結果を上回っちゃったりしてるので、これのところで、
0:41:45	最終的な許容限界との関係みたいなものもあるんだと思うんですけど、
0:41:49	今までこのプログラムを用いて設計をされてるということが、
0:41:54	保守的であるということもどっかにある程度考察として加えておく必要があると思います。いかがですか。
0:42:05	はい。中国電力清水です。はい。荷重、
0:42:09	の方、解析結果の方が上回っているというところ、そういったところを少し細かくですね、
0:42:16	考察をしていきたいと思います。以上です。
0:42:20	はい。お願いします。多分これ設計で用いてるのは、この変位レベルがかなり小さいレベルでしか用いてないと思うので、
0:42:27	その面ではその部分では、決して非保守側にはなってないと思います。がそれを含めてですね。
0:42:34	ちょっと考察を充実させてください。よろしく。よろしく。お願いします。はい。私からは以上です。
0:42:42	中国電力清水です。はい。この最大荷重相当終局状態進んだ所とところまで、検証しておりますけれども実際設計で用いてる範囲は、
0:42:53	そこまで至っていないというところもありますので、おっしゃっていただいたような趣旨を踏まえまして、考察をしたいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:02	規制庁の江寄ですが同じ話ですけども 24 ページで、今言われたように、実際に、
0:43:07	設計として使っているレンジ、
0:43:10	ていうのをよくよくせ、説明が今まであったと思うんで他の
0:43:15	発電所でもですね、そういう話とともにですね、あと、
0:43:19	実際にこれ土木の構造物ですよ、適用しているのは、そうすると、実際に設計で用いているのは、
0:43:27	解析ケース、何だっけ。
0:43:31	いわゆる部分安全係数を使っているんで、安全係数、
0:43:35	とかも含めてちゃんと話をした方が、整理がつくと思う。だから、
0:43:40	いわゆるひび割れから降伏点も、基本的に強度的には、大きくなってるよね。
0:43:46	ただ、
0:43:47	変位で見ると分には、
0:43:50	早めに起きてるっていうことがそれが、基本的に設計として安全側の非安全側なのかそれともそれは影響ないとして考えるのか、ただその実際に処理する設計で処理するときに、
0:44:02	変位は確か 1 点。
0:44:05	ミバイシしたりいろいろしてるんですよそこは何か変位の軸って幅が広いから、土木は、
0:44:11	考えると、基本的にはかなり
0:44:14	プラスばらつきとか不確かさがすごく大きいっていうことも踏まえて
0:44:20	2 割にしてるんだよね。それで、逆に強度の方はそんなに大きくは取っていないっていう。ただ一部、
0:44:25	今回いろいろ強度強度として評価してる部分もあれば断とかね。
0:44:31	曲げとか変形でき、
0:44:33	処理してる部分もあるので、そういった時に設計に及ぼす影響はどういうものがあるかって考えたときに、ここに関しては適用性があるっていう。
0:44:43	いう話をしていく、せざるをえないんじゃないかなと。
0:44:46	いわゆるさ、
0:44:47	W項目スリーもそうなんだけど、基本的には、
0:44:50	あるわけではないので、というか、それにプラスプログラマーによってはここはFinanceただけど、ダブル公務の個人で、基本的に中身を変えられちゃうんで、
0:45:02	基本的には

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:05	嘘。そうした違いがあるということも踏まえた上で、実際に
0:45:11	操作マニュアルでは、確か 12 種類ぐらいの実験計画比較してそこで部分安全係数を求めていますよね。で私が言ったようなそういうような考え方に基づいて、
0:45:21	今設計として反映してる安全係数等踏まえたときに、
0:45:25	こうしたものが説明できるのかどうかっていうのを考えた方がいいかなと思いますが、
0:45:30	よろしいですか。
0:45:32	そんな難しいこと言ってるわけじゃないんだけど。
0:45:34	はい。
0:45:34	はい。中国電力ヨシツグですご理解いたしました。
0:45:39	おっしゃられる通り、今回、試験結果 2009 の構造解析しているものはひずみで、概ね弾性を少し超える辺りのところまでのものを使っておりますし、さらに評価上、経営層の評価上のところで安全係数を見込んだもので評価をしておりますので、
0:45:56	そういったもともとの考え方の趣旨と過去の実験で使ってる荷重のレベルもかなり小さな範囲内で、評価の方も用いておりますので、
0:46:06	ちょっと評価結果土木側で使っている評価結果と、クライテリア等も見ながらですね、ここの考察を充実させていただきたいと思います。以上です。できれば工務Ⅲとかなんかで比較した方がいいんだよね。
0:46:20	本来であれば実験的格するからさ、こういうばらつきが出ちゃうんです。うん。
0:46:25	多分、開析度解析等してやれば、このCとかWコムと比較すれば、
0:46:30	こんな差はあまりもうちょっと、
0:46:32	澤縮められると思うんだけどさ、実験だとさ、小結とダブルこむだってさ、
0:46:37	差は出ちゃうはずなんで、一緒にならないんで。
0:46:41	なかなか実験結果に合わせていく方が難しいと思うけどね。うん。
0:46:45	それはそちらがどういう説明するかはお任せしますけど、あと私の方から主体的に、
0:46:52	他にあるのは 2 ページ 3 ページ目の、
0:46:55	V&Vのナカノを妥当性系の、要は、
0:47:02	妥当性確認なんだけど、その中で、2 ページ目のでいうと、三つ目のポツと四つ目のポツ、これはちょっとね、はてなが、
0:47:12	ありますね。
0:47:14	本当にこれで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:15	妥当性っていえるのかなっていうのがわかんなくて、例えば、まず特に3ページでやっている、JNESでやっている、あれですね1府の4号機これも私が、
0:47:27	担当してやってるんですけど、
0:47:29	このクロスチェックって、
0:47:32	これで使ってますよって言うてもこれ、水素爆発後の話。
0:47:38	そのあとに地震が来たならば大丈夫なのかっていうことをやってるんですよね。
0:47:44	まずこのクロスチェックやってるかっていう出資する当東京電力が、
0:47:48	もう水素爆発5に期待できなくなってしまった部位、
0:47:52	てのから、特定してるけど人が入って見てるわけじゃ、危なくて入れないからさ。
0:47:58	馬場地区って、
0:48:00	当然、我々っていうか、規制側の方ですね、JNESの方でいろいろ
0:48:06	その当時新野情報、いわゆる
0:48:11	写真だとか、いろんな情報が入っていてその中で見たときにはもうちょっと灰色のところはもう期待できないとして、
0:48:20	言ってる意味わかります書きたいところ、壊れた、損傷して期待できなかったん部位が、お互いに一致してるのが近い、市内の方っていうことで一致してないんですよ。で一致しなかったとしても、
0:48:33	Ssが来たとし、仮に今後起きたとしても大丈夫だっていう検討になるだけの話で、
0:48:39	ちょっと、
0:48:43	これをね、一つの
0:48:46	妥当性確認のその材料とするためには、もう、
0:48:51	目的外使用かなっていう気もしないではないんですよ。
0:48:57	なので、もしかして他のところで書いてるかもしれないけど、これって、うん。
0:49:02	うん。多分もしかしたらそのときに、
0:49:06	この
0:49:08	何だっけ。
0:49:11	CTCだっけ。
0:49:14	が関与しててゆいってるのかもしれないけど、ちょっと中身とあれがそぐわないかなっていう気がします。
0:49:21	二つ目のやつはこれはあれですねさ、昨今うちの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:25	納税学会の研究、
0:49:28	研究グループでやっている、
0:49:30	基盤グループでやっている。
0:49:32	安全研究の中身の話ですよ。
0:49:35	これをもって何をもって妥当だって言ってるのかよくわからないんですよ。
0:49:44	逆に言うとさ、線形要素と、線形ソリッド要素を用いた実績っていう話。
0:49:53	別にそんなにいらんんじゃないのっていう
0:49:57	それって上の方で、結局、
0:50:00	検証のところでちゃんと話をしておけば理論解とか何かと。
0:50:05	簡単な、うん。
0:50:06	プルームと比較してもいいんですけど、
0:50:09	CT、CTCの方だったら幾らもソフトを持ってるでしょって。
0:50:16	その方から、健康の妥当性っていう話はした方がいいんじゃないかなと思うんですよ。原子力として使ったことのある実績かどうかという観点でいうと、
0:50:26	四つめは、全然、
0:50:30	うん。
0:50:31	次違うのかなって気はするし、
0:50:34	三つもちょっとね実際、
0:50:37	検証建屋の家の方でも使っているから何とも言えないんだけど、原子炉で使ってる実績があるかどうかっていうと普通さ、発電所に入ってるんで、
0:50:49	出た特にここには、そんなに実績が
0:50:54	ないってことなのかな。だけど、だから問題とは思わないんだけどね。うん。
0:51:02	中国電力の清水です。はい。
0:51:06	4 発目の 1F のクロスチェック解析のことにつきましては申し訳ありません原子力の関係の実績がいいのかなということで、ちょっと記載をさせていただいておりましたが、
0:51:18	用途等を踏まえると、少しそぐわないということでご趣旨理解いたしました。ちょっと一般産業のところも含めまして実績を再度記載できるものがないかということで、考えたいと思います。
0:51:32	3 ポツ目の 2 ページ、2 ページ目の一番下のポツの
0:51:37	研究の関係のところですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:40	こちらにつきましても妥当性の
0:51:44	ところでこれを記載しなければならないかと言いますと、ちょっとそういうところも、必要性、記載の必要で考えまして、対応したいと思います。
0:51:54	あと、一番初めに言われておりました 24 ページの解析結果との比較のところですけども、
0:52:03	これ、先行の方でも、このⅢの比較とされていたと思いますので、ちょっとそちらの方、確認しまして記載の仕方というものを考えたいと思います。以上です。
0:52:19	はい。規制庁チギラです。
0:52:22	ちょっと私も、この解析コードの年齢、
0:52:26	先行のですね女川の資料も確認をしてですね、そちらCOMⅢでやられている資料を見てですね、
0:52:36	それで最後に 15 ページのところの、ここの妥当性確認。
0:52:42	ここの書き方は、同じことが書いてあるんですけど、
0:52:46	一つ目のポツの
0:52:49	今回スズキ行動はっていうところで土木建築分野に使用実績を有しており十分妥当性が確認されているってところなんですけど。
0:52:57	これは、例えば今回のファイナンススターでは、この
0:53:04	材料非線形解析でどのような使用実績があるのかっていう、裏付けの資料って求めたら出ますか。
0:53:12	論文とかですね例えばブラインの解析をやってるとか、
0:53:16	このⅢであれば土木合併マニュアルの 2021 とかの技術資料とかで、そういった、今、他にもいろいろ出てくるとは思うんですけど、
0:53:25	このスターで、この
0:53:28	使用実績とかそういったものを裏付ける資料っていうのは出てくるかどうか確認させてください。
0:53:40	中国電力清水です。はい。すいませんあんまりちょっと、
0:53:44	論文の方まで確認できておりませんが、そういったものがないかというところをメーカー、もう一度確認をさせていただきたいと思います。
0:53:53	そうですね。それ一ナイトウ、ここに書けないと思うのでちょっとそれはある、参考資料 2 でもですねつけていただければというふうに思いますので、ちょっとご検討ください。
0:54:06	中国電力清水です。承知いたしました。
0:54:11	はい、筒井とチギラですか他、
0:54:24	規制庁の服部です。1 点だけ確認させてください⑤番の資料の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:30	8-16 ページをお願いします。
0:54:39	この引抜き試験なんですけれども、
0:54:42	これはあれですか、772kN、
0:54:47	例えば、図の 4-9 の(3)のところは、
0:54:51	772kNのところ少し横線が入ってるんですけど、
0:54:57	これはここで何らかの
0:55:05	挙動があつてこういうこ線が入っているのか。
0:55:09	それとも解析上ここで止めて、許可したとき 2、
0:55:13	何か滑ったりとかそういうので横、少し変形が進んだのか、この点についてはいかがでしょうか。
0:55:23	中国電力清水です。はい。まずこの 772kN という荷重についてですけども先ほど交付
0:55:33	応力の話でありましたけども、
0:55:37	D51 につきましては、約 700kN のところが、想定される降伏荷重というところございまして、それを少し上めに、
0:55:48	試験の上限値として設定して、試験をしたものでございます。
0:55:53	その上限値付近のところでは火災化を止めて、試験を終了しているというところで、この陽子線のところで、はっきり、何か挙動が変わったとかいうところ、
0:56:05	の確認は、そういうふうには考えておりません。以上です。
0:56:12	規制庁の服部です。多分歩行強度と引張強度って違うと思うので、
0:56:19	いわゆる降伏強度等、公式に言われてるものも、安全率をかなり含んでると思うので、
0:56:29	おそらくこれぐらいでは何だろう。
0:56:33	塑性状態に入っていくような気もしたので聞いたんですけど。
0:56:37	これ、もうちょっと、772kN を引っ張れば、
0:56:42	概ね弾性的な状態でするずるずると上がっていくということで理解すればいいんですか。
0:56:57	中国電力清水です。はいおっしゃる通りでございましてですこれよりかけていけばですね幸福を迎えて、ずっと伸びていくというようなことも考えられたんですけども、こちらの
0:57:10	現地で写真を載せてますけど、
0:57:15	設置をしてやっております、摩耗し万が一そういう破断とか起きてしまいますと

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:20	ボーンと敵が飛んでいくようなちょっと危険な状態となるということで、そういった安全上の配慮もあって、上限を決めて今回試験をさせていただきます。以上です。
0:57:33	木瀬。
0:57:34	規制庁のハットリですはいなんかコンクリートの方で少しく、
0:57:38	滑ったりとか少しく付着が、
0:57:41	切れそうになってるのかなというふうにも感じられるので、
0:57:45	これちょっとこれは誤解を招きますので、
0:57:48	誤解を招かないようなあこう。
0:57:58	資料にさせていただくことってできますか。
0:58:09	中国電力清水です。はい。おっしゃる通りかと思しますので、ちょっと記載ぶりを考えさせていただきたいと思えます。以上です。規制庁のハットリですはいわかりました。
0:58:20	これあれですもんね 772kNのところ、右のところもこれプロットがあってこういう線が引けてるんだと思えますので、ちょっと、
0:58:29	記載の方を検討していただければと思えます私から以上です。
0:58:39	はい、規制庁チギラズ他、
0:58:42	ありますか、ないですかね。
0:58:44	はい。資料全体通してもよろしいですか。はい。はい。
0:58:48	中国電力から追加で説明等ありますか。
0:58:54	そして、中国電力清水です。はい。説明は以上でございます。
0:59:00	はい、わかりました。それでは本日の午前中のヒアリングについては、これで終了したいと思います。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。